

## 保育園の統廃合について

### 1 方針

子どもセンターつばさは平成15年1月6日に開設し、子育て支援の拠点施設として、各家庭や各施設と緊密な連携を取りながら、乳幼児の保育や保護者に対する支援を担い、児童を心身ともに健やかに育成する責任を果たしてきたところである。

開設当時、保育園入園児童数が少子化により減少となる見込みのため、近い将来上芦別保育園を閉園し、つばさ内の子どもセンター保育園に統合する計画があった。

しかし、経済情勢の悪化により共働きが増加し、国においては子育て支援策として、第2子半額、第3子（就学前）以降無料の保育料の軽減がなされ、さらに平成18年度からは市の施策として、第3子以降無料の幅を義務教育終了前までに拡大した。このことにより出生数減にも係わらず、入園需要は高く、入園児童数は微減にとどまっており、保育園の統廃合は見送られてきた経緯があった。

そうした中、平成22年度以降、上芦別保育園の入園児童数が、平成22年度末が44名だったのに対し、平成26年度末には22名と半減し、子どもセンター保育園においても同年度間で8名減少している状況であり、大幅な定員割れが続いている。このような状況から、子どもが成長するために必要な適正規模による良好な保育環境を維持するためにも、2園の統廃合について検討することとした。

### 2 現在の状況

#### (1) 施設状況

上芦別保育園は昭和47年1月1日に新築開設し、同53年に増改築、平成9年に改修工事をして現在に至っている。建築後40年以上経過しており、老朽化により壁面の剥離、亀裂が生じている。特に、ボイラーについては、平成7年9月に本体取替工事が行われたもので、20年経過していることから不具合が生じることが多い。

また、保育園にはエアコンが整備しておらず、調理室では夏に室温が40度を超し、保育室でも児童が熱中症にかからないようこまめな水分補給が欠かせない等、劣悪な環境である。

子どもセンター保育園は子どもセンターつばさが開設した時、芦別保育園よい子の家となかよし保育園が統合し現在に至っている。

施設は建築後13年と比較的新しく、0歳児から2歳児の保育室にはエアコンが整備されるなど、適切な維持管理が行われており、保育を実施するうえで大きな支障は生じていない。

また、子どもセンター保育園内の受け入れ態勢は、2園合わせても子どもセンター保育園の定員である110名に満たないことや留守家庭児童会が学校に移転し、その空いたスペースを利用できることなど、十分な状況である。

## (2) 入園児童の状況

0歳から5歳までの人口に対する保育園入園率は、過去5年間30%前後で推移している。3歳以上児は幼稚園に入園する児童が増加傾向にあり、3歳未満児と発達に支援の必要な児童は保育園の入園は需要が高い。

【現在の入園状況】 (平成27年12月1日現在) (単位:人)

区分	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
子どもセンター保育園	8	17	16	14	11	16	82
上芦別保育園	—	5	4	6	5	4	24
合計	8	22	20	20	16	20	106

## (3) 上芦別保育園に在籍している児童の世帯状況

平成27年12月1日現在、上芦別保育園には24人の児童が在籍している。そのうち、住居・職場ともに上芦別町にある世帯は5世帯6人となっており、他の世帯は両親若しくはその片方が本町地区に職場を持っている。現在徒歩で通園している児童はいない状況にある。

また、本町地区から上芦別保育園に通っている世帯は2世帯2人となっている。

## 3 保育園入園児童数の推移

【平成27・28年度入園児童数(推計)】

●子どもセンター保育園 (単位:人)

年度	基準日	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
27	4月1日	4	13	18	14	11	16	76
	10月1日	8	17	17	14	11	16	83
	3月1日	7	18	15	14	13	16	83
	増減	3	5	△3	0	2	0	7
28	4月1日	5	8	18	15	14	13	73
	10月1日	8	10	16	15	16	13	78
	3月1日	8	13	15	15	16	13	80
	増減	3	5	△3	0	2	0	7

※増減は、3月1日と4月1日との比較

●上芦別保育園

(単位:人)

年度	基準日	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
27	4月1日	—	3	5	6	5	4	23
	10月1日	—	5	5	6	5	4	25
	3月1日	—	5	4	6	5	3	23
	増減	—	2	△1	0	0	△1	0
28	4月1日	—	3	5	4	6	5	23
	10月1日	—	5	5	4	6	4	24
	3月1日	—	5	4	4	6	4	23
	増減	—	2	△1	0	0	△1	0

※増減は、3月1日と4月1日との比較

【平成29年度以降統合後の入園児童数(推計)】

●子どもセンター保育園

(単位:人)

年度	基準日	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
29	4月1日	4	14	24	18	19	22	101
	10月1日	7	15	22	18	20	21	103
	3月1日	7	21	20	18	21	21	108
	増減	3	7	△4	0	2	△1	7
30	4月1日	4	13	23	19	18	21	98
	10月1日	7	17	20	19	19	20	102
	3月1日	7	20	19	19	20	20	105
	増減	3	7	△4	0	2	△1	7

※増減は、3月1日と4月1日との比較

4 統廃合の必要性

本市の保育園入園児童数は年々減少が続いており、本市の人口減少と相まってこの傾向は今後も続いていくことが予測される。

子どもは、集団の中で生活することで自主・自立性、協調性等が養われ成長が促されると言われており、定員割れにより、良好な保育の場としての環境に支障が生じないように、児童に等しく保育を受ける機会を与える必要がある。

また、職員のマンパワーを集約することで、子どもセンター保育園全体で、家庭との連携を密にし、地域や関係機関との連携も深めながら、子どもを安心して預けられる環境づくりをする。

## 5 統合後の方向性

### (1) 0歳児から2歳児までの保育の充実

入園児童の半数を占める0歳児から2歳児までの保育を見直し、質の高い保育の提供と保育サービスの拡充を図る。

### (2) 障がいのある児童の保育の充実

併設している児童デイサービスセンターとの連携をさらに強化し、今後も障がいのある児童や養育困難な児童の保育を積極的に推進する。

## 6 統廃合の時期

平成28年度末をもって上芦別保育園を閉園し、平成29年4月から子どもセンター保育園に統合する。

## 7 今後の課題

入園児童のことを一番に考えることと、保護者（市民）の理解が最も重要であるという認識を持ち、保護者のニーズにきめ細やかに対応する。